

看護の知と技の継承

～看護師がすること AI・IoT に委ねること～

NTT 東日本関東病院

相馬 泰子

2017 年、政府は近年急激に起きている第 4 次産業革命 (IoT、ビッグデータ、人工知能 (AI)、ロボット等) のイノベーションを、あらゆる産業や社会生活に取り入れることにより、様々な社会課題を解決する超スマート社会「Society 5.0」の実現を目指す考えを示しました。

総務省は 2019 年の重点課題の中に、地域の暮らしを支える医療・介護・健康、教育分野における遠隔・自動化プロジェクト等の推進を挙げています。世界初の超高齢化社会を迎えるにあたり、人々が生涯にわたって健康な状態で生活していくためには、これらのテクノロジーを活用する必要があります。

当院では昨年度、ナースコールシステムを更改、ベッド周辺の各種センサー、ベッドサイド端末、トイレの離座センサーを導入しました。新たな取り組みとして、看護部と本社ビジネス開発部門が共同し、音声認識技術を活用した議事録作成の実証実験を実施するとともに、電子カルテへの音声入力、離院検知システムの導入やペーパーレス化等も検討を重ねております。また看護管理業務の中でも、人事・労務管理に RPA (Robotic Process Automation) を導入し業務の効率化を実現しました。今後も引き続き AI、IoT の医療現場での活用を拡大していく予定ですが、忘れてはならないのが導入後の評価です。使用頻度、成果を測る評価指標、使用感や継続性を定期的にチェックすることで、次への課題を明確にし、新たな支援に取り組んでいきたいと考えています。

このような技術革新が進化し続ける「医療・看護の未来」に向かって、看護師の役割や働き方も少しずつ姿を変えていくと思われれます。しかし、今まで人がやってきたことを全てテクノロジーに任せていいのでしょうか。AI、IoT へ移行した業務の中にも、私たちの気づかない事や、患者・家族のニーズが隠れてはいないかを立ち止まり振り返ることも必要です。また看護師がこれまで大切にしてきたこと、これからも変わらずに実践するケアの継承、看護支援システム及びロボットの効果的な活用、組織を超えたチーム医療の中心としての役割、さらに担うべき重要な使命等も任せられることになるのかもしれない。

今回の大会企画として、大久保清子先生から看護管理者の視点で、真田弘美先生から看護実践者の視点で、「看護師がすること、AI、IoT に委ねること」についてご講演いただき、看護師の手と目と技 (知識と経験) を持って、何をすべきか、これからも伝え続けていくこととは何なのか、本大会メインテーマの議論を深めて参りたいと思います。

座長・演者 相馬 泰子 (NTT 東日本関東病院)

演者 大久保清子 (公立大学法人福井県立大学)

演者 真田 弘美 (東京大学大学院医学系研究科健康科学・

看護学専攻老年看護学/創傷看護学分野)

略歴 相馬 泰子

1986年～ 関東通信病院（現 NTT 東日本関東病院）
2005年4月 NTT 東日本関東病院 看護長
2006年4月～2007年3月 厚生労働省保健局医療課および医政局看護課へ出向
2013年 認定看護管理者取得 2018年 同資格更新
2015年4月 NTT 東日本関東病院 副看護部長

東京医療保健大学大学院研究科 看護マネジメント学専攻修士課程修了

略歴 大久保 清子

2000年4月 福井県済生会病院 看護部長
2006年8月 同院 副院長兼看護部長
2010年8月 同院 副院長
2015年4月 福井県立大学 看護福祉学部 研究科 教授
2017年4月 福井県立大学 看護福祉学部 研究科長 学部長 教授
2019年4月 福井県立大学 理事
看護福祉学部・看護福祉学部研究科 特任教授

福井大学大学院 医学系研究科 看護学専攻修士課程修了（修士医学系看護学）

福井県立大学大学院 経営・経済学研究科 経済研究専攻博士課程修了（経済経営学博士）

略歴 真田 弘美

1979年 聖路加看護大学卒業
1987年 クリーブランドクリニック聖路加分校 ET スクール修了
1989～90年 イリノイ大学大学院看護学部にて研修
1987～97年 金沢大学医学部研究生 博士(医学)
1998年 金沢大学医学部保健学科教授
2003年 東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学分野教授
2006年～ 現職
2011～2012年 専攻長。2015～2016年学科長。
2017年～ 東京大学大学院医学系研究科附属グローバルナーシングリサーチセンター センター長兼任
2019年 Curtin University(Australia)Adjunct Professor

東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻老年看護学/創傷看護学分野教授、博士(医学)